

平成12年度 地殻変動監視観測

(ディファレンシャルGPS局を利用した地殻変動監視観測)

日本列島の広域の地殻変動を監視するため、海上保安庁灯台部ディファレンシャルGPSセンターが運用するディファレンシャルGPS局のGPSデータを用いて平成11年1月から連続観測を、同年10月からISDN回線によりデータ転送を開始した。

解析は、精密基線解析ソフト「Bernese Ver.4.0」を用い、各ディファレンシャルGPS局(下図参照)の位置を決定した。同年10月から「GARD」による自動データ転送・解析を開始した。解析の基準点は和歌山県下里水路観測所(SLR観測局)である。

平成12年1月から12月までの下里から各ディファレンシャルGPS局間の基線長変化を第2図に示す。



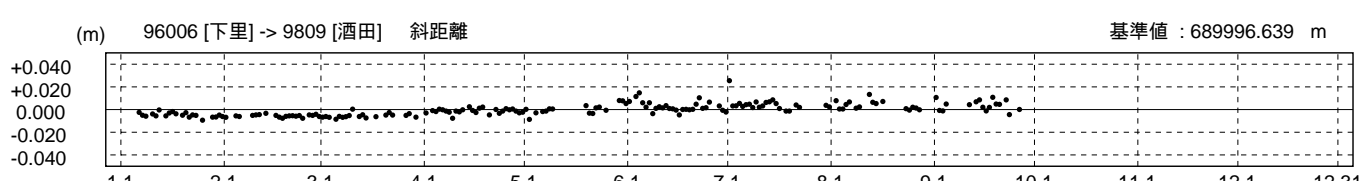
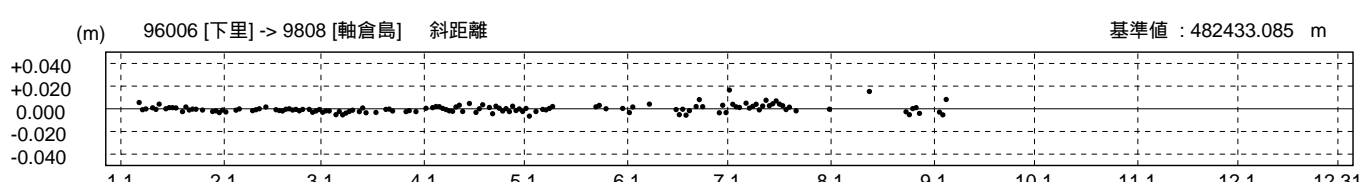
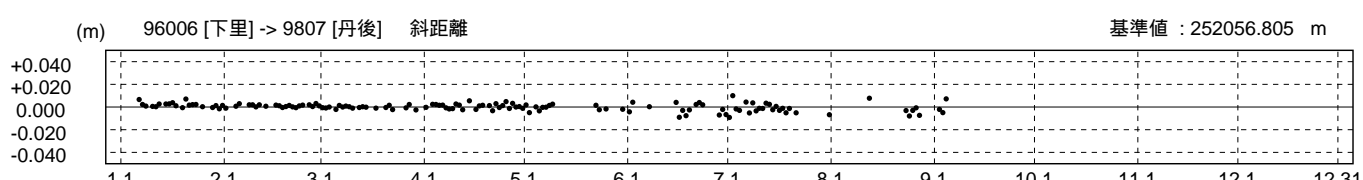
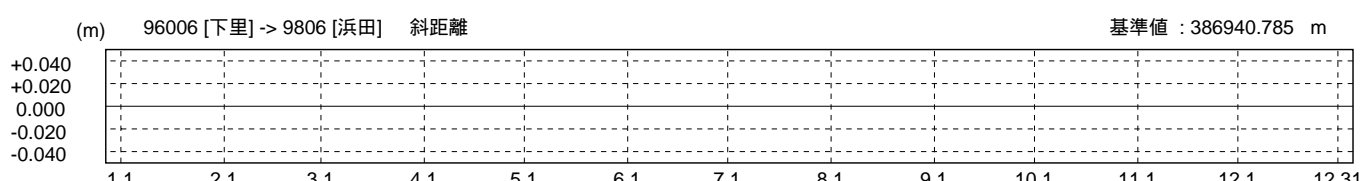
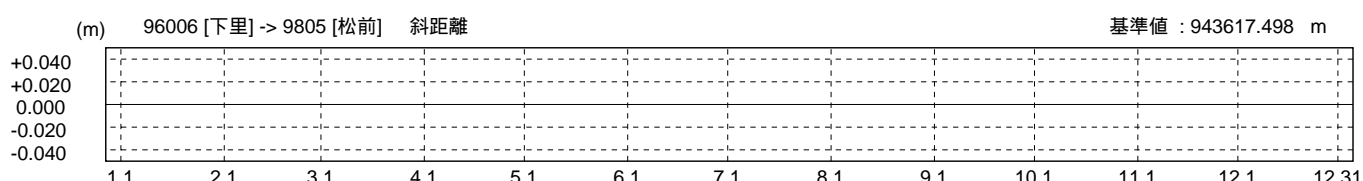
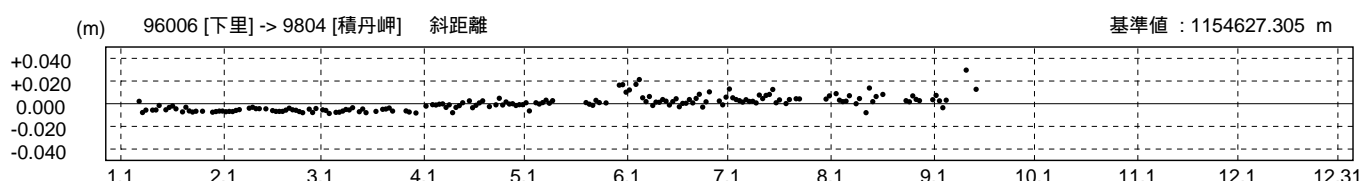
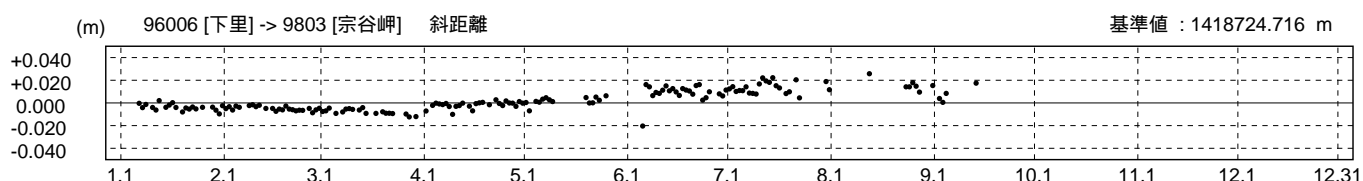
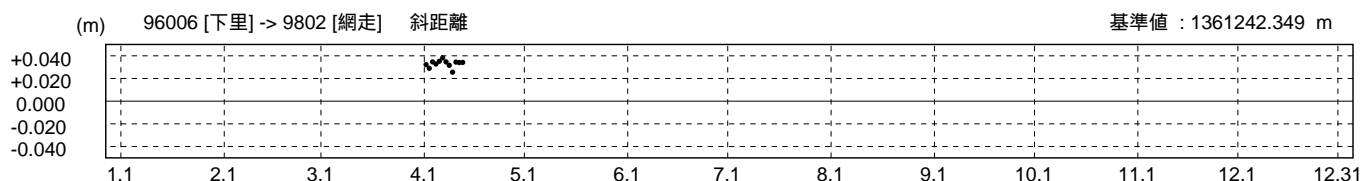
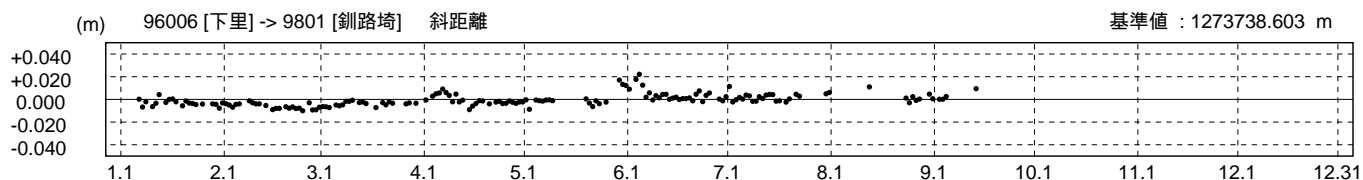
第1図 ディファレンシャルGPS局の配置図

期 間: 2000年1月1日 ~ 2000年12月31日
座標系: WGS-84 時刻系: UTC

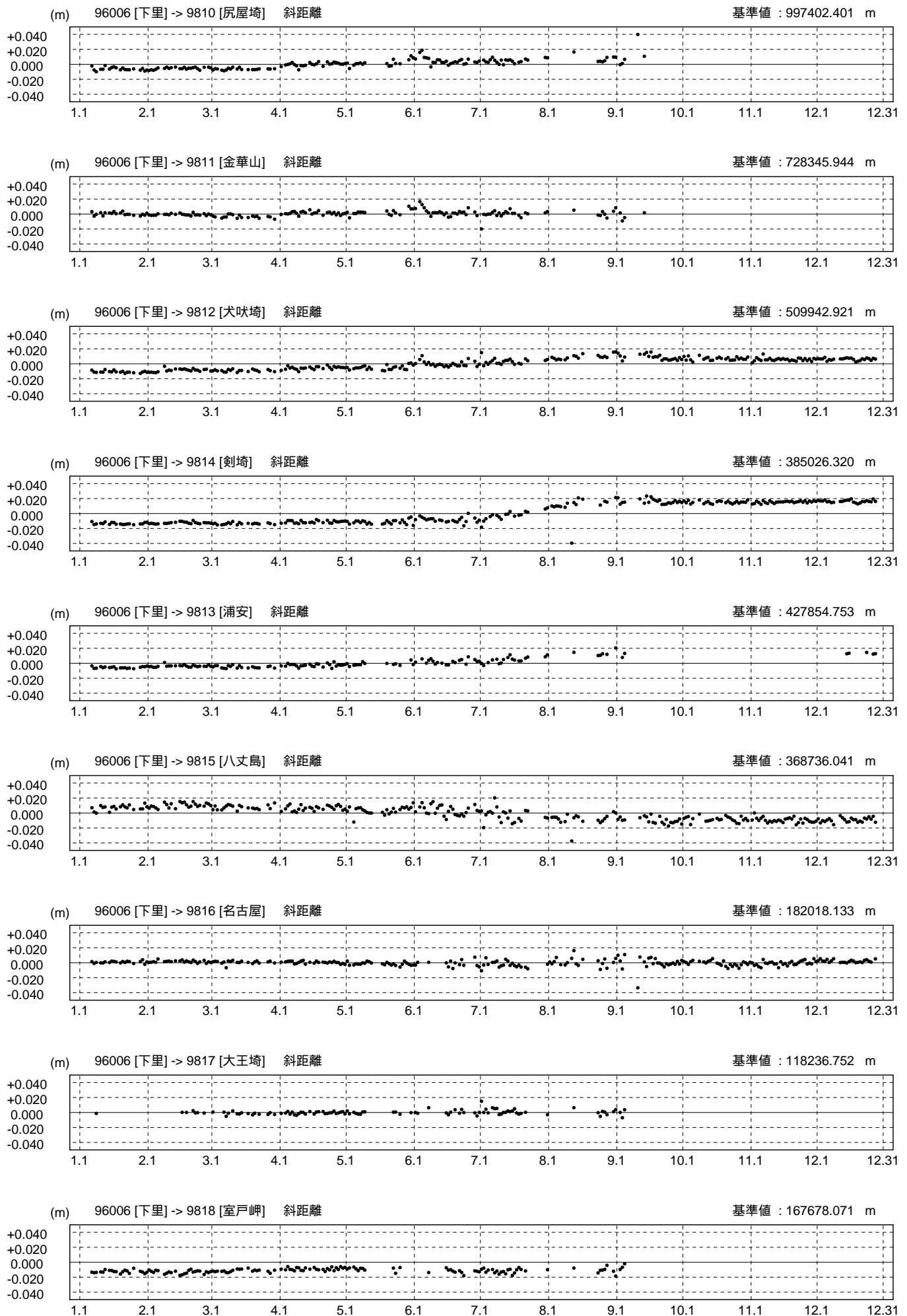
基線長変化グラフ

--- Bernese[IGS 精密暦]

(1/3)



基線長変化グラフ



基線長変化グラフ

